

2011～2012年度  
国際ローターテーマ



『ここの中を見つめよう  
博愛を広げるために』

# KAWASAKI TAKATSU R.C.

第2590地区第3グループ 川崎高津ロータリークラブ

2011～2012

事務局：〒213-0041川崎市高津区溝口2-14-1むらたビル3F

例会場：ホテルKSP TEL 044-819-2211

例会日：毎週木曜日 12:30 / 毎月第4週 18:00

会長：田中 薫

幹事：鈴木 良一

クラブ年度テーマ

『ローターの原点にたちかえり、思いやりの気持ちを持とう』



R.I.会長  
Kalyan  
Banerjee

## 点鐘・開会宣言・歌唱

田中 薫会長 「君が代・奉仕の理想」

## お客様

- 上澤摩壽雄様(国際ローター-第2590地区ガバナ- 横浜鶴見北RC)
- 晝間 勝様(国際ローター-第2590地区 地区幹事 横浜鶴見北RC)
- 長戸はるみ様(国際ローター-第2590地区 第3グループガバナ-補佐 川崎高津南RC)

## 報告

### 会長報告

\*クラブ 国際委員長会議 開催の案内が届いております。

日時:10月21日(金)15:00-17:00

場所:メトロポリス ヲア21 3F「フィルツェ」

\*第2590地区 2011-12年度地区大会 新世代交歓会の案内が届いております。

日時:10月23日(日)9:30-16:30 場所:鶴見大学会館

ご出席ご希望の方は事務局までお知らせ下さい。

\*クラブ 奉仕委員長会議 開催の案内が届いております。

日時:11月15日(日)15:00-17:00

場所:メトロポリス ヲア21 4F「ウイング」

### 幹事報告

\*第46回高津区親子運動会の案内と楯及び賞状の寄贈依頼が届いております。

日時:10月16日(日)8:00～ 場所:川崎市立高津高校

寄贈種目:町内対抗綱引き 依頼金額:30,000円

\*過日開催された川崎青年会議所創立60周年記念式典、祝賀会に会長幹事の出席に対して礼状が届いております。

諸事お知らせ

\*次週10月13日(木)は10月1日(土)に行われた移動例会(多摩川花火大会)の振替え休会となります。

\*次々週10月20日(木)の例会プログラムは会員卓話 飯尾光正会員です。

\*次々週例会後に定例理事会が開催されます。

委員会報告 社会奉仕委員会 大橋健治委員長

10/1多摩川花火大会はお疲れ様でした。少し寒かったです。秋の花火も風情がありました。9/25に奉仕五団体打合せがあり、議題をクラブで検討して頂きたいとのことです。

## 第14回例会記録

10月は「職業奉仕・米山月間」です。

通算：第1256号

例会日：平成23年10月6日

発行日：平成23年10月20日

今週のプログラム：「ガバナ-公式訪問」

次のプログラム：「卓話 飯尾光正会員」

ニコト-ネーションメッセージ

\*お客様(順不同)

上澤摩壽雄様(第2590地区ガバナ- 横浜鶴見北RC)

本日は宜しくお願い致します。

晝間 勝様(第2590地区地区幹事 横浜鶴見北RC)

ガバナ-に同行して参りました。宜しく申し上げます。

長戸はるみ様(第2590地区第3グループガバナ-補佐

川崎高津南RC) 今日ではよろしく申し上げます。

\*RC会員(敬称略、順不同)

田中 薫 上澤ガバナ-様、ご指導宜しくお願い致します。

鈴木良一 上澤ガバナ-様本日は宜しく申し上げます。

三家 護 10/16高津地区親子運動会が高津高校で開催されます。時間がありましたらお出掛け下さい。

	件	合計	累計	目標額	達成率
ローター-財団	15	15,000	159,000	336,000	47.32%
米山奨学会	14	15,000	159,000	560,000	28.39%
ニコトBOX	19	38,000	272,000	1,000,000	27.20%
フレンドリー-BOX	15	19,000	206,000	500,000	41.20%

	会員数	出席義務者	欠席数	出席率	MU	前々回修正
本日	27	25	4	84.00%		
前々回	27	25	8	9月29日分	4	84.00%

### クラブ会報委員会

本藤光隆委員長 相馬 元副委員長

三富末雄委員 森山圭介委員

編集担当：三富末雄



## 卓話「ガバナー公式訪問」

上澤摩壽雄様  
(国際ロータリー第2590地区ガバナー、横浜鶴見北RC)

ガバナーの役目は何か。クラブとRIとのパイプ役です。私は国際協議会で色々勉強させて頂きました。RIの方針、地区の方針、各クラブの活動計画を双方に、例えばRIの報告、情報を各クラブに報告する、双方の情報を取り纏めロータリー活動に反映させて頂くということです。

今日で公式訪問は43クラブ目です。川崎横浜を奔走して参りました。各クラブの独自性、クラブライヴがいろいろで特徴があると痛感しました。この機会がなければ62クラブ訪問することはないので大変光栄に思います。

今年の1月アメリカ、カリフォルニア・サンディエゴで開催された国際協議会に出席しました。世界200を超える国・地域のロータリーと配偶者1300名余が出席されていました。

この協議会はロータリーの総合的な知識を学び「超我の奉仕」の理想と実践に挑んで行くのが目的でした。今年度のガバナーとしての役割への深い思いと責任を感じながら勉強して参りました。この2011-12年度当地区のクラブ会員の皆様と共通の夢を胸に、それを実現させるため、勇気と実行力、精神力、そして変化を積極的に受け入れ、より良い年度を目指したいと思っています。

地区ガバナーとして私の役割の一つは地区内クラブの意欲を喚起し、クラブとのより良い関係を目指すこと及ロータリーの綱領を推進し会員との調和を計ることです。ガバナーはRI理事会の一般的な監督下に職務を行うことになっています。

組織としての成功を維持し、常に発展を目指す上で国際ロータリーのクラブレベルにおける成果を維持するために、ガバナーとして大きな責務を果たさなければなりません。

今年度を成果あふれる充実したものにするために目的を立て、ロータリーの精神であるロータリー綱領を実践し、会員の皆様に鼓舞することと心得ております。地区の目標・方針を具体的に実践することです。また、RIと地区・クラブの連携を構築する上で長期計画を反映した目標を設定する必要があります。

第1日目の本会議でRI会長加ヤン・バ・ネジ氏の2011-12年度テーマと強調事項が発表になりました。

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。また同時に3つの強調事項「家族」「継続」「変化」も示されました。

加ヤン・バ・ネジ会長はテーマの中で次のように述べておられます。深く自己を省みるにより、人類が皆同じ夢、希望、願望、問題を分かち合う事を理解するために、まず自分自身を見つめ直すことから始めて下さい。全世界で平和について語る前に、まずは自分から始め、その後で外に目を向ける必要があります。こころに平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらす、家族に平和をもたらす、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。同様に全世界で平和を築こうとする前に、まず自分の家庭で平和を築き、全世界で友情と寛容の心を育もうとする前に、まず自分の周りの人々に対してそれを実践しなければなりません。言い換えれば、心が平和であれば、家庭が平和になり、この平和を他の人々と分かち合うことができるということです。

愛する人、大切な人と一緒にいることに喜びと満足を感じるように、私たちは他者を大切にすることができるのです。

次に今年度の三つの強調事項ですが、

第一は「家族」です。万事は家族から始まります。私たちが行う奉仕全て、また世界で成し遂げたいと望むこと全ての出発点は家族にあります。そしてあらゆる家族の中心を成すのが母と子です。ここから始めてこそ人々の生活や地域社会全体を通じて、世界をより良くすることができるのです。

第二は「継続」です。私たちが得意とすることは何かを知り、それを継続しながら次のレベルと高めていくことです。私たちは皆、ロータリーの奉仕で成功を収めてきました。これらを土台に今後も更に多くの人々に手を差し伸べていくことができるでしょう。ですからきれいで安全な水の提供、疾病の予防、識字力の普及、新世代のための



活動や新世代との協力、平和への努力といった活動をこれからも続けていかなければなりません。同時に改善できること、変えるべきことがあることを私たちは知っています。こうした事実を勇気をもって見据え、変えるべきことは何かを見定め、必要な変化をもたらしていくために行動して行かなければなりません。

第三の強調事項を「変化」としたのはこのためです。世界が望んでいる変化にまず私たち自身がなることです。平和を望むなら、家族に、地域社会に、自分自身の生活に平和をもたらすことから始めるのです。ボリオや他の病気を世界からなくし、環境破壊に歯止めをかけ、子供の死亡率を減らし、識字率を高め、飢えを減らしたいと望むなら自分自身がこの変化の担い手とならなければなりません。それにはまず自分の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識しなければならないのです。

以上が三つの強調事項です。

今年度のRI会長のテーマにおいて、ロータリーの精神的な部分から自分自身の内部に潜在しているもの、即ち人の行動や考え方に大きな影響を及ぼしている、心の動きに対し自問自答しながら行動に移して下さい。というように私は感じています。

RIのテーマはここ数年どちらかというと物理的行動や外部に向けての奉仕活動が主体であったように思いますが、今年度のテーマはロータリーの原点に戻り、自分自身を高め、切磋琢磨し、その精神をもって奉仕活動をしましょう、自分の心に湧いてくる人間づくりにしようということです。このようなRI会長の精神と私の今年度の方針目標が奇しくも同調していますので、その意をくみとって頂きたい。また今年度のクラブ運営に反映させて頂きたいと思えます。

ロータリークラブは知人の集まりではなく、友人の集まりです。友情を大切にすることは、ロータリーの原点であり全てではないでしょうか。そしてロータリーの目的、即ち綱領であり四つの柱、五代奉仕だと思えます。これがロータリーの原点であります。

## 《今後の目標、方針について》

1. 「ロータリー綱領」の再確認をして下さい。
2. クラブ主導・地域支援が基調です。
3. ロータリーは五大奉仕が基本です。
4. 魅力あるクラブ作りと創意工夫(人格を磨こう)
5. 新世代奉仕で未来のリーダーの夢を育みましょう。
6. 地域に密着したロータリー活動をしましょう。
7. 会員増強が源、クラブの力になり、組織の力になります。
8. ロータリー財団の寄付目標 年次寄付は一会員120ドル以上ベネファクターを各クラブ2名以上 ボリオのクラブ目標達成
9. 米山記念奨学会事業への理解と寄付 普通寄付一人5,000円 特別寄付一人20,000円(25,000円が目標)
10. 東日本大震災復興支援

次に長期計画ですが、各クラブの活性化とロータリーの役割ということで長期計画の必要性が言われています。それは2004年度の規定審議会で承認されました。具体的にはロータリーのビジョンや使命、超我の奉仕と中核となる価値観が3つの項目に集約されています。未来を明るくするため活発で強力な奉仕活動を展開することを目的に長期計画が設定されています。

## 《長期計画》

1. クラブの強化と強化
2. 人道的奉仕の重点化と増加
3. 公式イメージと認知度の向上

ローターもこの間100年と思っていたら、もう107年です。クラブの自主性とは何か。クラブの評価とは何かということを考えさせられます。国際ローターの組織は世界のクラブの連合体であります。クラブ活動や奉仕活動を行うに当たり、各クラブが絶対的な自主性を持っているのです。

国際ローターは各クラブに対して特定の奉仕活動を命令したり禁止することは原則出来ないことになっています。各地区にクラブという組織がありますが、これも決して上下関係ではありません。各クラブの活動を定めるのはクラブの自主判断です。このことはローター107年の歴史の中で重要な事です。決議23.34に明記されている通りです。それ故クラブが独自性を持って一つのルールの中で運営して行かなければならないのが現状です。

クラブの自主性が問われる。クラブの自主性について深く考える必要な時期に来ていると思います。またクラブのそれぞれの評価となりますと、クラブ会員ひとりひとり有形無形の尊い先人の積み上げた財産であります。クラブの伝統、風格、会員同志のすばらしい友情、クラブ独特なクラブライフというはかりきれない積み上げた歴史と財産があります。クラブ全体の共有財産は会員全体で育てていく、守っていくということがなければなりません。

先輩が大切にしてきたローターの心でもあり、愛情でもあります。全員の資質が評価されるものでもある。あの方がいるからローターに入りたい、あの方はローターアンですか？といわれるようなローターアンに我々はならなければならないと思います。外に向けての奉仕活動、中に向けての内部活動、いろいろな問題があります。

まず、ローター自身、自分の心の中を見つめ、人間としての道徳とか倫理という人間形成を計り、常に自分を高めるといふ高度な人格作りをすることです。バネツグRI会長のテーマの内容をじっくり考えて頂きたいと思います。

ローターの歯車は107年間巡り続けて来ました。歯車の軸がぶれては機能しません。世の中の現象には時代を超えて変わるもの、変わらないもの、変えてはならないものがあります。歯車の軸とはローターの中核と言われています。つまりローターの綱領です。もっと具体的に言うと職業奉仕です。ロータークラブのプライムが時代と共にいかに多岐に変わろうとも我々はその精神、所詮は出発点に戻らざるを得ない。

本日クラブの皆さんにお会いできて本当にありがとうございました。

ローターの目的は奉仕、この心を育成することが奉仕の目的であるということではなくて、あくまでも訓練する手段の場であるということと思って頂ければと思います。皆さん全員バネツグを付けています。これを誇りにして頂きたい。バネツグを付ける度に何か人間にとって、あるいは人類にとって良いことをするという責任があるのだと思って頂きたい。

歯車の数は24個です。1日は24時間、どうかこのバネツグを付けたまま常に奉仕の意識を高めるような活動を今年度もやって行きたい。皆さんのご協力をお願いしながら1年間努めさせていただきたいと思っております。

## \*謝辞

田中 薫 会長

上澤ガバナー ご指導ありがとうございました。我々ローターは原点に戻って奉仕活動し、みんなと助け合いよいクラブを作って行くことが大事だとお話を聞いて感じました。純増1名以上の会員増強に皆様のご協力をお願いします。

